

一般社団法人山口県医師会平成29年度第13回理事会

平成29年10月5日(木) 午後5時～午後6時56分

河村会長、吉本副会長、林専務理事、弘山・加藤・藤本・今村・沖中常任理事、白澤・香田・中村・船津・山下理事、藤野・篠原・岡田監事

議決事項

1 平成30年度山口県医師会代議員会について

平成30年度の臨時代議員会を平成30年5月17日、定例代議員会を平成30年6月14日に開催することが決定した。

協議事項

1 平成30年度山口県医師会代議員会の日程について

来年度は、本会及び郡市医師会において役員等の改選期である。本会の選挙代議員会開催日が郡市医師会の運営にも大きな影響を与えることから、代議員会開催時期等の方針について協議を行った。

2 第1回郡市医師会長会議の意見・要望について

各郡市医師会からの予告質問はなかったが、詳細説明の要望があった「医師会立看護学院(校)バレーボール大会アンケート調査報告」及び本理事会で協議した「山口ゆめ花博募金活動」を議題に加えることが決定した。

3 平成30年度施策・予算に関する要望について

前回理事会での決定内容に、年度当初、厚生労働省より各都道府県並びに市町にも直接協力要請がなされた「新生児聴覚検査体制整備事業」について追加し、要望することが決定した。

4 平成30年度地域医療介護総合確保基金に係る事業提案について

平成30年度県予算の編成に当たり、県から求められていた地域医療介護総合確保基金事業について、柳井医師会から提案のあった事業について、一部修正の上、提出することが承認された。

5 平成29年度学校保健連合会表彰について

山口県学校保健連合会長から標記被表彰候補者1名の推薦依頼があり、2郡市医師会から推薦があった候補者について協議し、1名を候補者として決定した。

6 山口ゆめ花博(第35回全国都市緑化やまぐちフェア)募金活動の実施について

平成30年9月14日～11月4日において山口県で開催される「山口ゆめ花博」を盛

り上げ、成功させるために募金活動を実施することが決定した。

報告事項

1 医事案件調査専門委員会（9月21日）

病院5件、診療所2件の事案について審議を行った。（林）

2 第2回花粉情報委員会（9月21日）

平成30年花粉情報システム事業の概要及び平成29年12月10日（日）に開催する花粉測定講習会について協議を行った。（今村）

3 第48回日本看護学会－ヘルスプロモーション－学術集会（9月21日）

山口県看護協会の引受により「維新150年、山口からの発信！住民が『しあわせ』になる地域づくりの真髄」をテーマに山口市で開催され、開会式において祝辞を述べた。（河村）

4 第1回山口産業保健総合支援センター運営協議会（9月21日）

平成28年度産業保健活動総合支援事業の実施状況、平成29年度同事業の事業計画及び実施状況、治療と職業生活の両立支援事業について協議した。（藤本）

5 男女共同参画部会第2回育児支援WG・保育サポーターバンク運営委員会合同委員会（9月23日）

保育サポーターバンク利用状況報告の検討、保育サポーター研修会の内容、危機管理対応の検討の必要性等について協議を行った。（今村）

6 山口県緩和ケア医師研修会（9月23・24日）

山口県主催、本会の共催で開催。講義のほかグループ演習、ロールプレイングが行われた。受講修了者18名。なお、平成30年度から研修でのeラーニングの導入が可能となり、導入について検討されている旨、報告があった。（弘山）

7 熊本県医師会新会館内覧会・落成記念祝賀会（9月24日）

新会館内覧会、竣工祝賀会に出席した。平成28年4月14日に熊本地震が発生したが、4月22日より建設が開始され、鉄骨造一部鉄筋コンクリート造りの地上6階建、建設事業費は約21億円。（河村）

8 中国地方社会保険医療協議会山口部会（9月27日）

医科では、新規1件（交代1件）が承認された。（河村）

9 第2回山口県糖尿病対策推進委員会（9月28日）

山口県糖尿病療養指導士講習会の実施状況（修了試験受験者143人、うち142人合格）、やまぐち糖尿病療養指導士レベルアップ講習会の開催（11月25日）、世界糖尿病

デー（11月14日）に合わせたライトアップイベント、やまぐち糖尿病ウォークラリー大会の開催（10月1日）、第5回日本糖尿病療養指導学術集会の活動報告等が行われた。また、県が策定を進めている「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」について協議し、意見等を踏まえて修正したものを完成版とすることが承認された。（弘山）

10 第39回産業保健活動推進全国会議（9月28日）

活動事例報告2題の後、日本医師会産業保健委員会から「ストレスチェック制度の円滑な実施を目指して」及び「医療機関における産業保健活動の推進」、厚生労働省からは「病気の治療と仕事の両立－働き方改革実行計画から－」について説明・報告並びに協議が行われた。（藤本）

11 日医 大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会（9月29日）

「よりよい男女共同参画を目指して」をテーマに開催された。日本医師会長並びに日本医学会長・日本医学会連合会長の挨拶後、「日医女性医師支援センターの取り組み」の説明並びに「女性医師の勤務環境の現況に関する調査」の報告が行われた。続いて、2大学2学会（岡山大学、自治医科大学、日本内科学会、日本外科学会）より取り組み事例の発表が行われた後、意見交換を行った。参加者は、大学及び学会の関係者、都道府県医師会の担当役員等、約300名。（今村）

12 中国四国医師会連合常任委員会（9月30日）

ブロック選出の日本医師会役員から中央情勢報告、平成28年度事業・会計報告の後、医療事故調査制度における中央と支部の連携、中国四国医師会連合医事紛争研究会の開催、次期当番県等について協議を行った。（林）

13 中国四国医師会連合各種分科会（9月30日）

第1分科会：医療保険では、各県における地域医療介護総合確保基金の取り組み状況、消炎鎮痛等処置の回数等の9議題8提言、第2分科会：介護保険では、道路交通法改正後の状況、地域包括ケアシステムにおける多職種連携及び医療・介護情報ネットワークの活用状況・医師会としての対応等の7議題7提言、第3分科会：地域医療では、准看護学校の運営、勤務医の環境改善への対応等の9議題6提言について意見交換を行った。（加藤、沖中、藤本、香田、山下）

14 中国四国医師会連合総会（10月1日）

中国四国医師会連合の平成28年度事業・会計報告が承認された後、横倉義武 日本医師会長による「日本医師会の医療政策」、特定非営利活動法人グリーンバレーの大南信也 理事長による「神山プロジェクト～創造的過疎から考える地方創生～」の講演2題が行われた。（林）

15 医療事故調査制度「管理者・実務者セミナー」（10月2日）

日本医療安全調査機構からの委託による標記セミナーが日本医師会館において開催

された。「医療事故調査制度の概要」(厚生労働省医政局総務課医療安全推進室 名越 研究室長)、「医療事故報告における判断①演習、②整理」(日本医療安全調査機構)、「調査実務担当者の視点から」(北海道大学病院医療安全管理部 南須原康行 教授)等の講演及び演習、質疑応答が行われた。また、医療事故調査制度施行以降の都道府県別医療事故報告(発生件数)が報告された。(林)

16 日医第5回医療政策会議(10月4日)

今後の超高齢・少子社会と医療及び社会保障の財源選択等について意見交換を行った。(河村)

17 広報委員会(10月5日)

会報主要記事掲載予定(11・12・1月号)、炉辺談話、県民公開講座、歳末放談会のテーマ等について協議した。その後、第8回フォトコンテストの審査会を行い、146作品の応募の中から、8作品を表彰作品に決定した。(中村)

18 会員の入退会異動

入会2件、退会3件、異動10件。(10月1日現在会員数:1号1,291名、2号866名、3号443名、合計2,600名)(河村)